



Smiles for the Public

証券コード6809

TOA株式会社

会社説明会

2021年11月23日



この音、聞いたことはありませんか？



こんなところで活躍しています

教育施設



ボックス
スピーカー

オフィス・会議室



写真：「point 0 marunouchi」



ワイヤレス
マイク

駅・交通インフラ



ワイドホーン
スピーカー

工場・倉庫



ネットワーク
カメラ

商業施設



天井埋込型
スピーカー

減災・防災



防災用
スピーカー

製品分野別 売上の割合

* 2021年3月期 期末 売上実績

鉄道車両

- ・ 車両内放送設備
- ・ カメラ設備
- ・ 表示機器、等

音響



天井埋込型
スピーカー



ワイヤレスマイク



会議用マイク



防災用
スピーカー



非常用放送設備

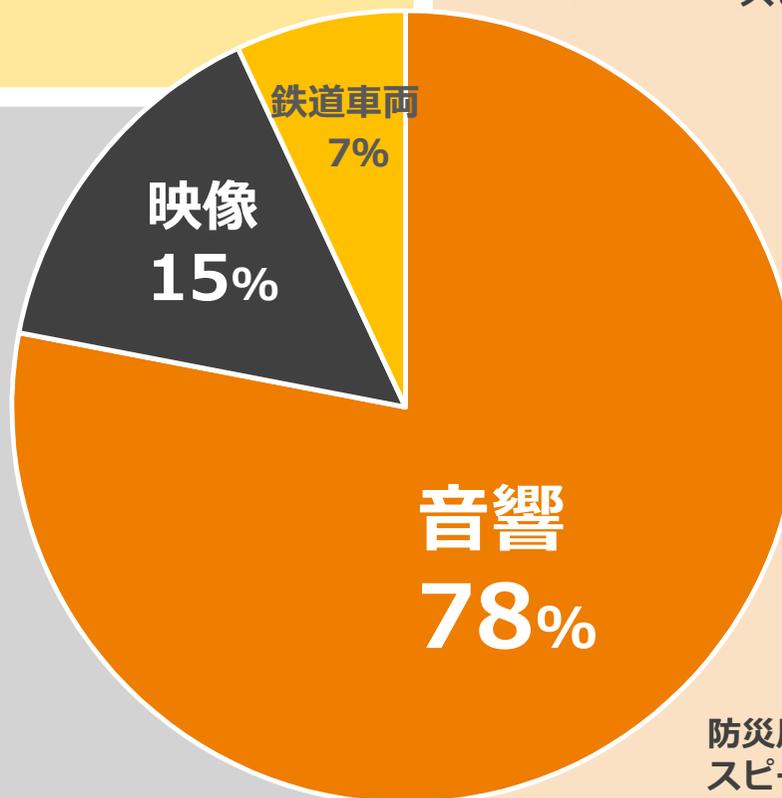
映像



ネットワークカメラ



レコーダー



創業以来、暮らしに欠かせない「音」をお届けしている会社です

※2021年3月31日時点

2024年で



創業**90**周年

国内グループ



36拠点

海外グループ



29拠点

資本金



52億79百万円

連結売上高



405億75百万円

グループ従業員数

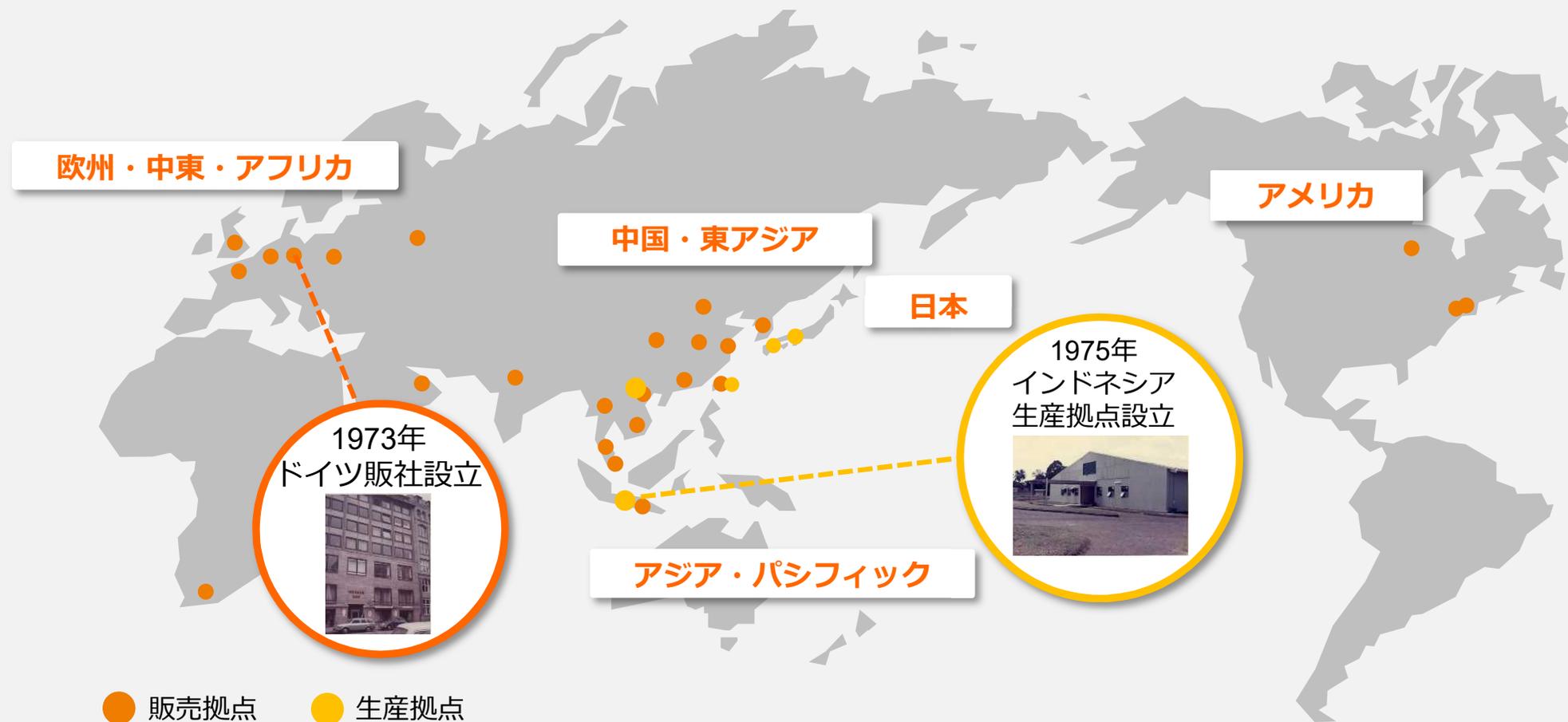


連結**3,020**名

世界に広がるTOAの拠点

世界**5**セグメント、**29**拠点で活動展開

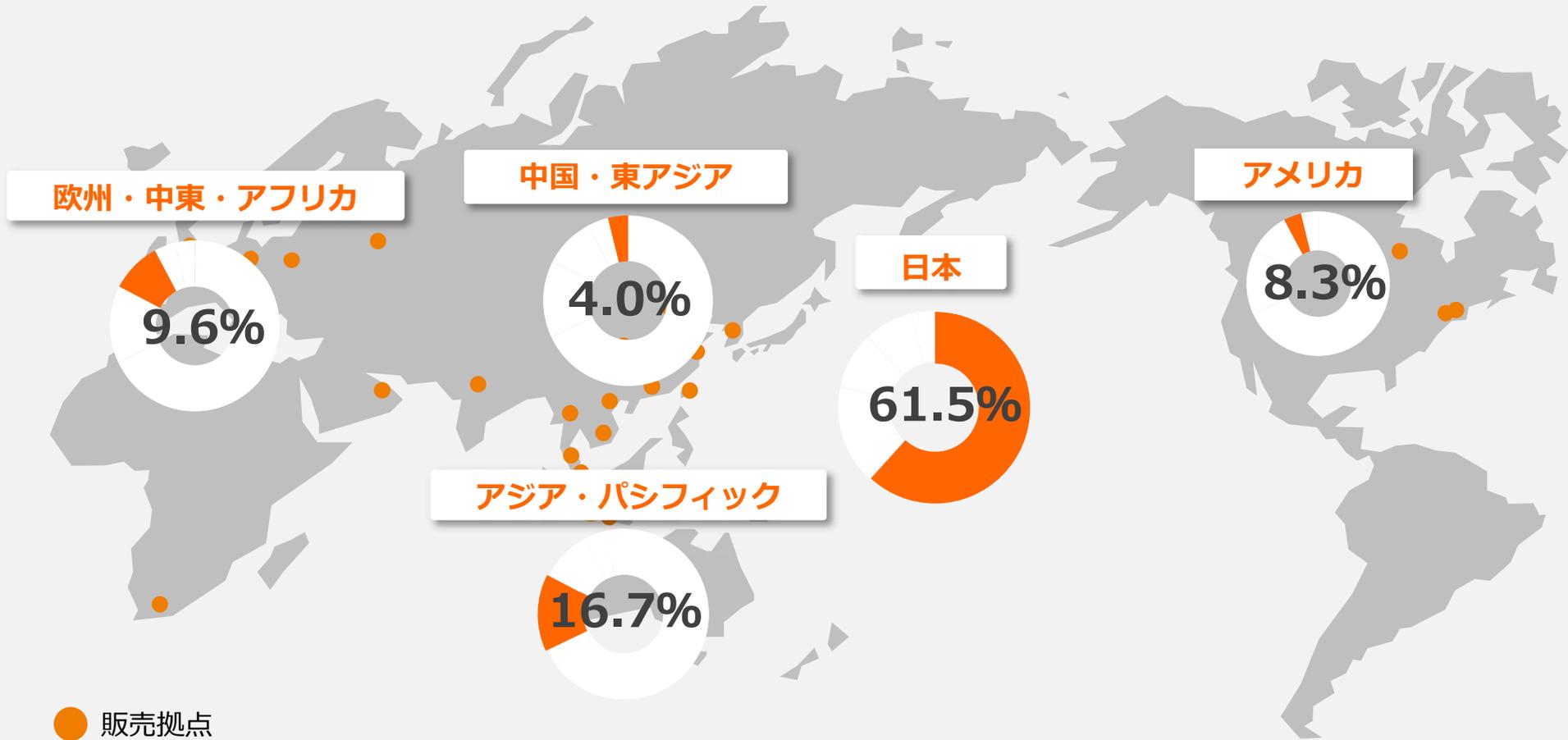
主要取引先 **120**カ国以上



仕向け先別 売上の割合

世界5セグメント、29拠点で活動展開

※2021年3月期 期末



TOAの企業価値

TOAの企業価値

Smiles for the Public

— 人々が笑顔になれる社会をつくる —

「笑顔」とは、単なる満足を超え、人々に「安心」「信頼」「感動」という価値を提供することで得られるもの。それを当社は、人々の集まりである「社会」に対して実現いたします。

数々の「世界初」「日本初」を生み出しています

1947年
日本初「レフレックス型
トランペットスピーカー」



1954年 **世界初**「電気メガホン」



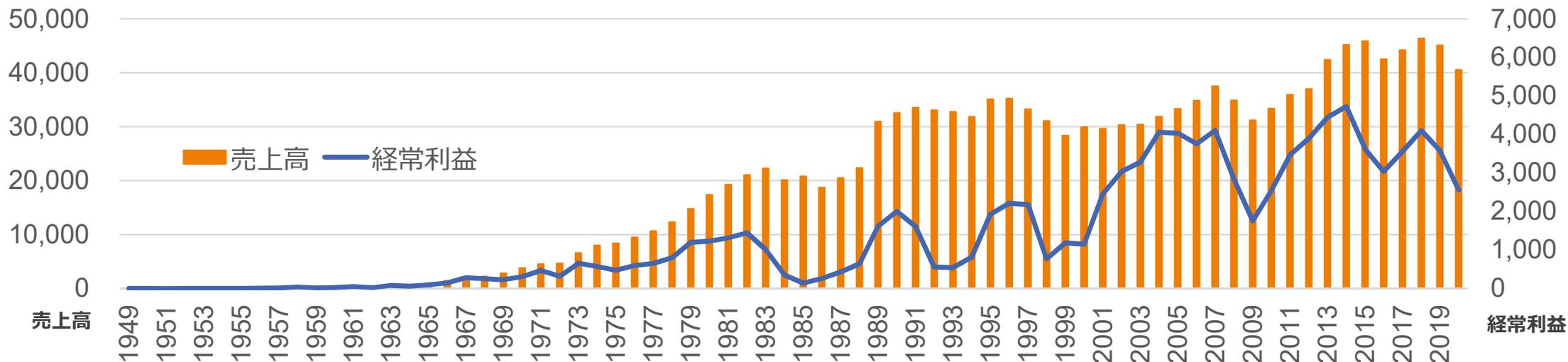
1969年
日本初「非常用放送設備」



2014年 **業界初**
「緊急地震放送対応 非常用放送システム」



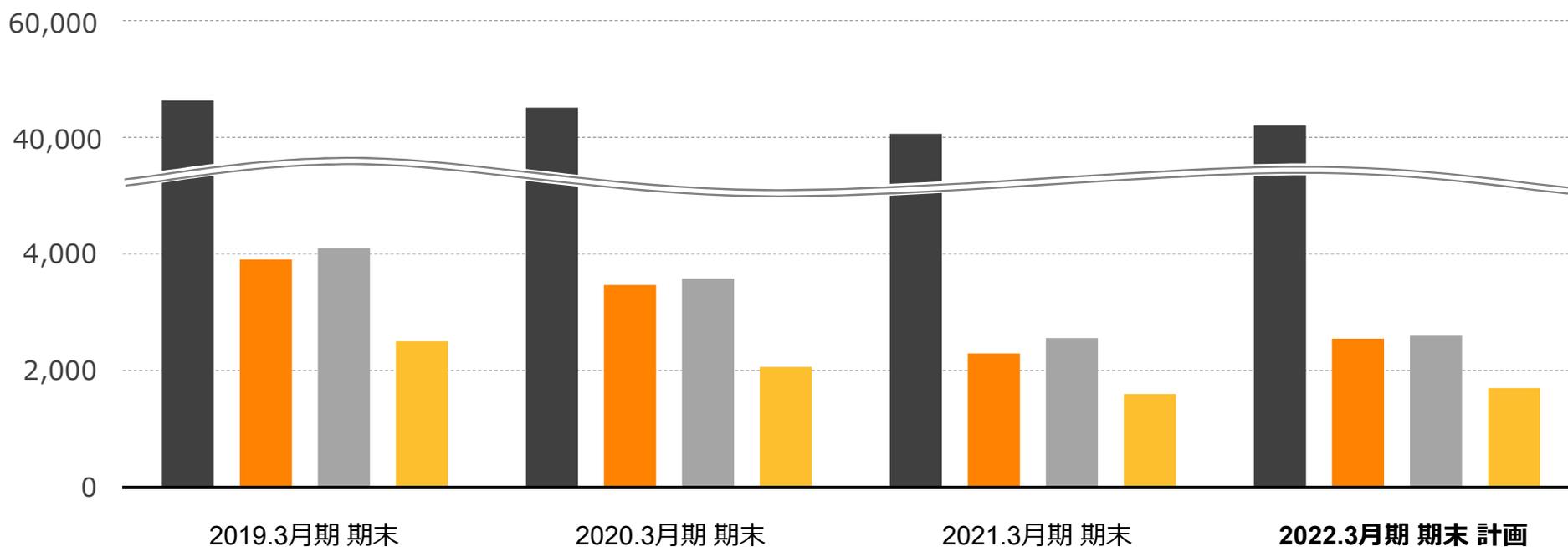
(単位：百万円)



※1989年より連結業績

2022年3月期 数値計画（連結）

(単位：百万円)



項目	2019.3月期 期末	2020.3月期 期末	2021.3月期 期末	2022.3月期 期末 計画
■ 売上高	46,338	45,068	40,575	42,000
■ 営業利益	3,903	3,465	2,293	2,550
■ 経常利益	4,099	3,577	2,558	2,600
■ 最終利益	2,504	2,065	1,596	1,700

(注) 親会社株主に帰属する当期純利益

株価の推移

(単位：円)



配当については、以下の事項を総合的に勘案して決定する方針

- 年間 20 円（中間配当 10 円、期末配当 10 円）の配当を維持。
- 最低額を20円/株とした業績連動配当（35%を目安）の実施。
- 持続的な成長を可能とする内部留保とのバランスを勘案。

INDEX

- 第一章 「誰一人取り残さない」ための日本初の挑戦
- 第二章 「音で命を守りたい」減災・防災への挑戦
- 第三章 「社会の音を良くする」誰もが暮らしやすい社会のために

「誰一人取り残さない」ための日本初の挑戦

シェアNo.1 TOAの主力商品 非常用放送設備



ラック型非常用放送設備
FS-2500シリーズ

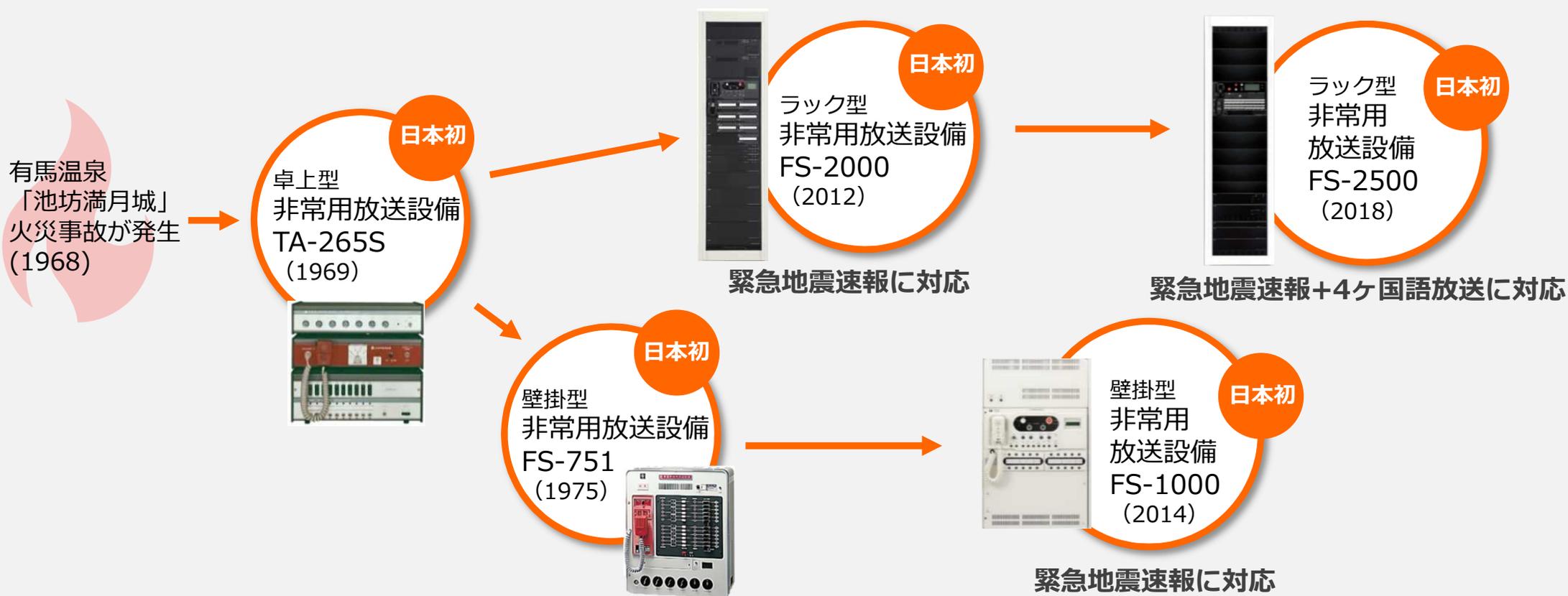


壁掛型非常用放送設備
FS-1000シリーズ

ある火災事故を機に、TOAが日本で初めて開発した商品

日本初 非常用放送設備の開発

「音の専門メーカーとして自分たちにできることがあるはず」
従業員の使命感からスタートした商品開発



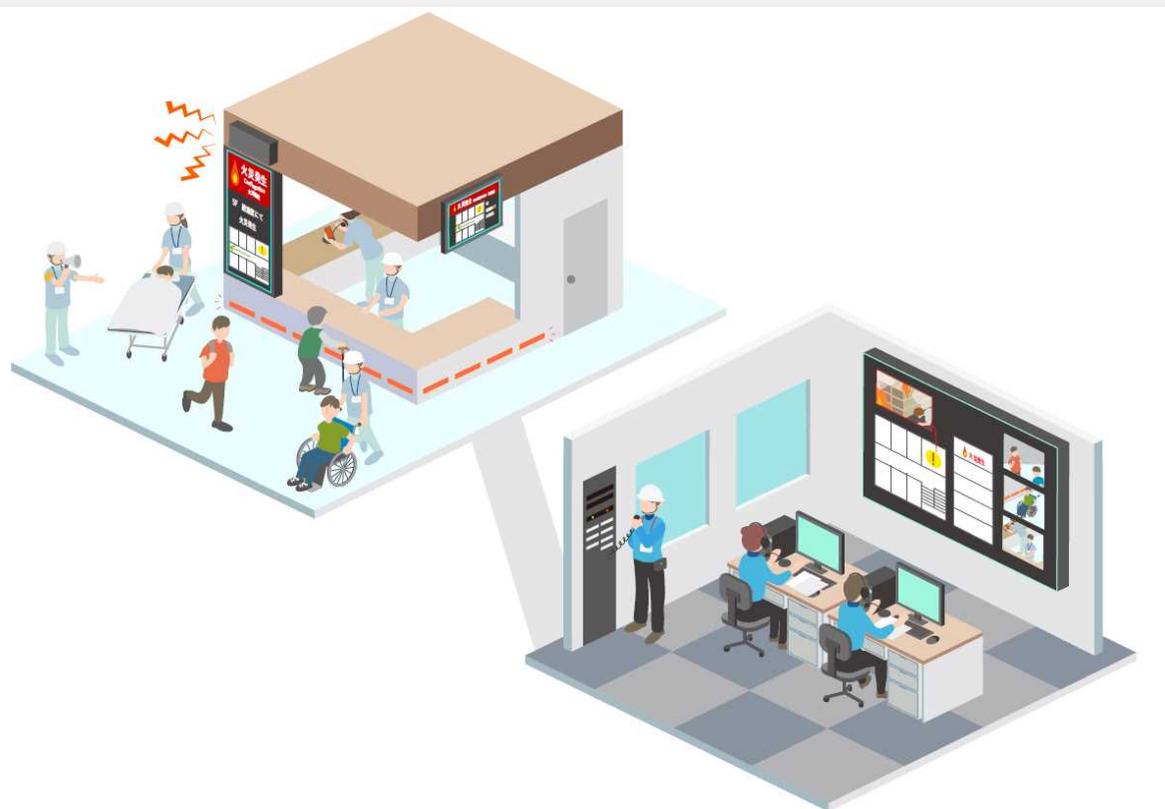
官公庁をはじめ全国の建築物に納入 「音」で安全・安心に貢献

事例
紹介



誰一人取り残さない、避難誘導の実現へ

カメラ、サイネージ等と連動した避難誘導システムで
これからの避難誘導の在り方を提案



「人にやさしい避難誘導」

警報音だけでなく、視覚情報でも避難を誘導するほか、カメラと連動することでエリアごとの状況に応じた情報提供を行います。

また、スマートデバイスでもエリアごとの状況や要避難者の人数を映像で確認することができるため車いすやご高齢の方といった避難困難者のサポートなど状況に応じた素早い対応が可能です。

避難をする人にも、避難を誘導する人にも配慮したシステムで、安全・安心な街づくりに貢献していきます。

「音で命を守りたい」 減災・防災への挑戦

「防災用スピーカー」の開発と普及活動

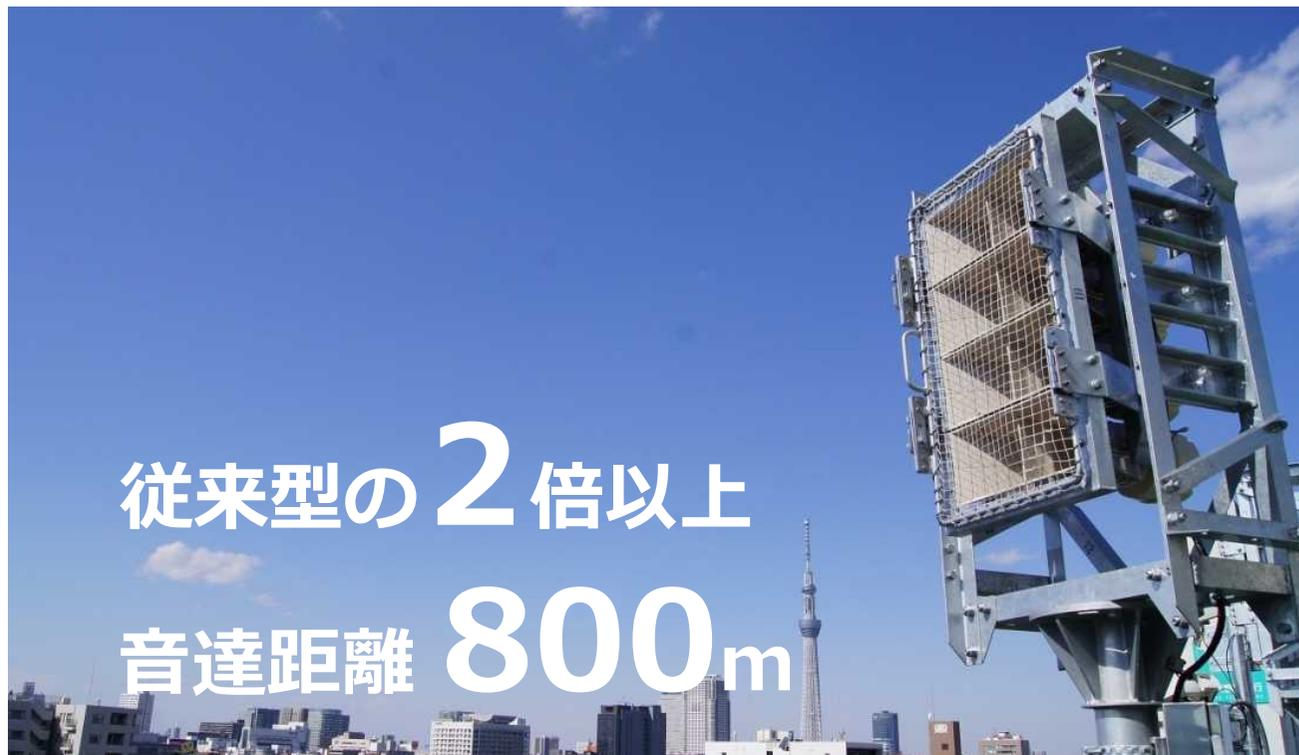


防災用スピーカー
(従来型)



東日本大震災の津波で倒壊した
防災無線屋外子局

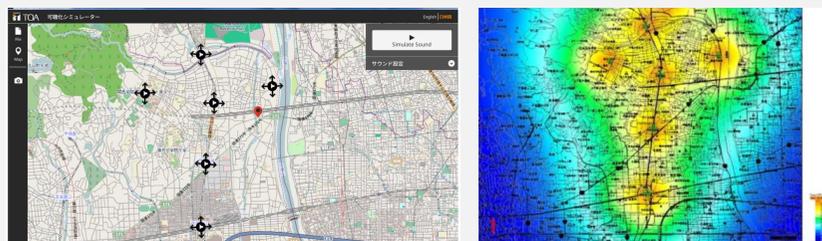
「一人でも多くの人を、音で守りたい」
従業員の強い思いから生まれた“音”



津波被害の及ばない建物屋上等からでも、遠くまではっきりと防災放送を届ける

全国約370以上の自治体で運用 (2021年3月現在)

屋外拡声のノウハウとエンジニアリング力で、地形に合わせた音づくり



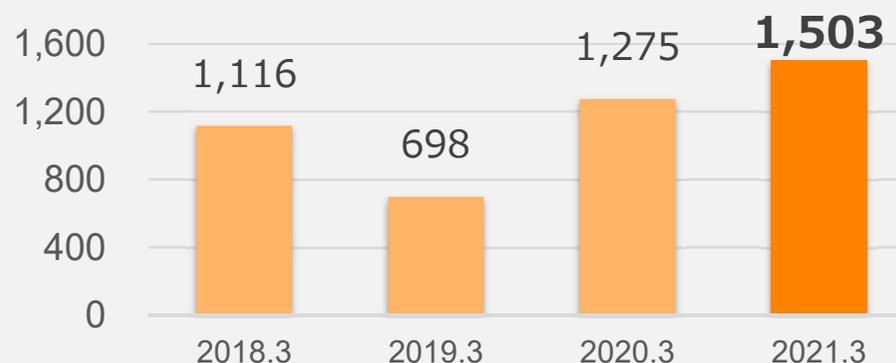
独自の音響シミュレーション

(※)NETISとは

国土交通省が運営する、民間企業等により開発された新技術に係る情報を、共有及び提供するためのデータベース

減災防災市場 年間売上実績

(単位：百万円)



国交省が運営する新技術データベース
「NETIS(※)」にも登録



普及活動の更なる展開

「聴こえないエリア」をなくす活動、全国へ

温暖化により多発する災害への対応

11 住み続けられる
まちづくりを



豪雨災害の発生による河川の氾濫や土砂災害を、いち早く報せる

しら

河川監視カメラ



電気や通信インフラの
整わない条件下でも利用可能

夜間の水位上昇も
赤外線カメラ機能で監視

昼間



夜間



水位上昇を
遠隔で映像確認



スピーカー搭載ドローン

空からの情報発信にも着手

2020年度より異業種企業と共に
地元神戸市に協力し、
上空からの外出自粛呼び掛けを実施



国産ドローンを活用した実証実験を開始

災害大国日本の防災ノウハウ、海外へ

インドネシアへ屋外情報伝達システムを納入



災害に強い街づくり、日本から世界へ
非常時の情報伝達を担ってきた企業としての使命

「社会の音を良くする」
誰もが暮らしやすい社会のために

こんな音、耳にしていますか？



※写真はイメージです

-社会の音を良くする- 独自の音響技術研修講座



音響機器を正しく扱うことで
“良い音づくり”を伝承する「音塾®」

「良い音づくり」のためのノウハウを伝承していこう！
従業員の発案でスタートした社内向けの技術研修講座

一般の音響技術者向け講座へと発展
全国各地で開催されているほか、海外展開も



良い音づくりのノウハウを広く伝承、今後も継続的に活動

-社会の音を良くする- 誰もが聴き取りやすい音を



「音声明瞭化技術」 都内地下鉄で実用化

周囲の騒音で聴き取りづらい、加齢による難聴で聴き取りづらい、を改善



音声の周波数や音圧の違いが聴き取りやすさに影響

特定の周波数帯域を補声する独自技術により
「聞こえる」から「聴いて理解できる」へ

平常時も非常時も「いつでも、誰もが情報を得ることのできる」街づくり

-社会の音を良くする- コロナ禍で顕著になった「音のお困りごと」

「声が聴こえにくい」への解決策をご提案



デジタル会議システム
TS-D1000



パーティション取付型 会話補助システム



パーティション越しの会話を聴き取りやすくサポートするシステム
コンパクトかつマグネットでの簡単取付が可能
店舗のレジや医療機関の窓口などあらゆるシーンで、
ストレスフリーなコミュニケーションを実現

➡ 大規模ワクチン接種会場や、大手スーパーに納入

-社会の音を良くする- 良質な教育環境を音でサポート

授業中の教師の声の聴き取りやすさ、学習効果に影響

4 質の高い教育を
みんなに



とくに英語学習の場合、
細かな発音を聴き取り、習得するためには
クリアで聴き取りやすい音声が必要

海外では既に
教室内拡声のガイドラインも設定

TOA

音と学習効果の関係について国内で実証実験を実施
その結果を国際論文誌に公開し、
国内でも学会等において成果発表を開始

教室内の音環境の重要性 教育現場に広く提唱、誰もが質の高い教育を受けられる社会に貢献

従業員が挑戦できる、環境づくり

「自分たちに何ができるのか」
常に問題提起をし、自ら挑戦できる環境づくり



開発アイデア/販促アイデア
コンテストの開催



“失敗体験”と“課題”を共有する
意見交換会

Pick UP



従業員発“コロナ禍緊急開発プロジェクト”から誕生した
「パーティション取付型 会話補助システム」



すべての原動力は、人

当社のすべての原動力は、人です。

87年間のTOAの商品開発のあゆみは全て、従業員の

「自分たちにできることは何か」「音で解決できないのか」という強い思いから始まりました。

世界が大きく変動している今こそ、音のお困りごとを解決する「音のプロ集団」として改めて私たちが社会のためにできることを進めていきます。

一緒に「社会の音」を良くしていきませんか？

ぜひ、これからも応援をよろしくお願いいたします！

